

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	愛知県	事業実施主体	愛知県、豊田市	地域再生計画名	「暮らし楽しむまちとよた」地域交流計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	豊田市建設部長		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	指標総数	達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	①「生活や産業を支える道路が整っているまち」として満足している市民の割合の増加	45.6%	H28	48.1%	R4	49.1%	50.6%	R6	○	R4に市民意識調査を実施していないが、直近で実施した令和3年12月実施の調査結果では、49.1%となっており、中間目標値より高い数値であることから目標達成の見込みである。  中間目標は達成できていない。新型コロナウイルス感染症の影響であると考えられる。コロナ禍の状況次第では最終目標値の変更を検討する。  中間目標は達成できていない。新型コロナウイルス感染症の影響であると考えられる。コロナ禍の状況次第では最終目標値の変更を検討する。  R4のデータがまだ公表されていないが、直近の令和3年の調査結果では、68,000㎡となっており、中間目標値より高い数値であることから目標達成の見込みである。
	指標2	②主な観光施設やイベントの観光入込客数の増加	1,024万人	H30	1,062万人	R4	858万人	1,100万人	R6	×	
	指標3	③都市と山村の交流事業参加者数の増加	11,600人	H30	13,100人	R4	9,895人	14,600人	R6	×	
	指標4	④素材（木材）生産量の増進	38,300㎡	H29	39,200㎡	R4	68,000㎡	39,800㎡	R6	○	
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		4,000m	2,000m	4,600m	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は50%である。市民満足度も向上していることから、引き続き、計画に則した整備を目指していく。また、当初計画と最終実績見込みの差異については、路線追加等によるものである。					
	林道整備事業（整備延長）		1,500m	553m	1,500m	当初計画に対し、路線延長から見ると進捗率は約37%とやや遅れがあるが、R4工事が部分的に未完となっていることが大きな要因であり、引き続き、計画に則した整備を目指していく。					
その他の事業	豊田市観光実践計画の推進		「チームとよた」（豊田市、観光協会、観光事業者、市民団体等）で観光施策等の取り組みを推進する。			新型コロナウイルス感染拡大により、観光業は非常に大きな影響を受けており、目標値を大きく下回っている。令和5年度途中に感染症法上の位置付け5類に移行したため、少しでも目標値に近づけるよう努めていく。					
	交流コーディネート事業		都市部と山村部の交流をコーディネートし、魅力や価値を発信する。			都市部と山村の人・地域・団体・企業を「つなぐ」プラットフォーム（中間支援組織）であるおいでん・さんそんセンターが、交流・連携・移住の相談機能を備えた総合窓口や企業や大学等による農林業体験をはじめとした様々なニーズに応じた交流機会のコーディネートを行っている。新型コロナウイルス感染症拡大により交流機会は激減したが、感染症法上5類への移行もあり、引き続き、関係人口の強化を図っていく。					
	地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト		木材の利用を積極的に推進することで、地域材の需要が高まり、間伐の促進が図られることで、公益的機能が十分に発揮される森林整備を推進する。			地域材の安定供給及び利用が推進されるための支援を行うとともに、土砂災害防止、水源のかん養等の森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、森林整備の実施、支援を行った。					
計画外で独自に実施した事業											
③評価方法	有識者（第3者）による意見聴取を実施し、客観的な視点も含め中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
④中間評価の公表方法	豊田市建設企画課のHPに掲載。										
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、都市部と山村部の交流促進や産業拠点間の交通円滑化、幹線道路ネットワークの強化等を図ることで、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築するとともに、「コンパクトネットワーク」地域構造への転換を促進し、市域全体の魅力向上を目指している。指標①④は中間目標を達成しており、本市の目指す姿への一助へととなっている。継続して目標達成を目指していく。指標2及び3については、中間目標は未達成であるが、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、人々の動きがコロナ禍前に戻りつつあるため、目標達成できるよう引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。なお、近年の動向を見つつ、指標2及び3については修正の検討を行いながら、目標達成を目指す。										
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容					
	地域再生計画の見直し（有・無）					特になし					
	令和〇年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					特になし					
⑦今後の方針等に対する対応	特になし										